

平成25年度 事業報告

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

《 目 次 》

I 基本方針	1
II 国際障がい者スポーツ総合大会への選手及び役員の派遣	
1 ソチ 2014 パラリンピック冬季競技大会	2
2 第 22 回夏季デフリンピック競技大会	2
3 アジアユースパラ競技大会マレーシア 2013	3
III 競技力向上対策の推進	
1 競技団体に対する助成	3
2 海外コーチ招聘事業	4
3 競技別指導者養成事業	4
4 ジャパンパラ競技大会の開催	4
5 競技別大会	5
6 医・科学・情報サポート推進事業の実施	6
IV 障がい者スポーツの普及	
1 第 13 回全国障害者スポーツ大会	6
2 競技別大会	7
3 障害者スポーツ指導者の育成	7
4 地域における障がい者スポーツの振興	8
5 障がい者スポーツの広報	10
6 調査研究事業	10
V 事業活動推進のための体制強化	
1 日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)の推進	10
2 暴力根絶への取組み	13
3 国庫補助金及び民間助成団体助成金の確保	14
4 オフィシャルスポンサー制度の推進	14
5 寄附活動の推進	15
6 国際組織との連絡調整	15
7 アンチ・ドーピング活動の推進	16
8 文部科学省及び日本体育協会との連携強化	17
9 東日本大震災への支援	17
10 関係機関との会議開催等	17
11 2015 年創立 50 周年記念事業の検討	20
VI 東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致活動の推進・準備の開始	20

平成25年度事業報告

I 基本方針

当協会は、昨年3月28日に、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画の理念・方針に沿って、「日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)」を公表し、本年度はビジョン推進のアクションプランに基づき次の4項目を重点に職員が一丸となってその推進に努めた。

○日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)の推進

ビジョンを広く社会の共通認識が得られるよう、国をはじめ関係団体、企業等関係各方面に働きかけるとともに、計画的に各施策を推進した。昨年9月にはビジョンに掲げたオリンピック・パラリンピック開催が東京に決定し、さらに、政府所管が文部科学省に移管が決定するなど、平成25年度においてもいくつかの施策が早期に実現した。

引き続き、ビジョン推進にあたり、進捗状況及び社会情勢、取り巻く環境を考慮して、アクションプランについては、柔軟に再構築することとした。

○東京2020オリンピック・パラリンピック招致

世界で初めての2回目の夏季パラリンピック東京開催を目指し、招致活動を積極的に推進した結果、9月に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定し1月には「東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」が正式に発足した。

東京2020オリンピック・パラリンピックの決定を受け、11月にIOCによるオリンピック・パラリンピックオリエンテーションセミナーが開催され、1月にはIPCオリエンテーションセミナーが実施され、当協会役員および競技団体関係者に対し、東京パラリンピック開催の意義が共有化された。

また、11月24日ギリシア(アテネ)で行われた、国際パラリンピック委員会(IPC)理事選挙に、当協会理事・日本パラリンピック委員会副委員長の山脇康(やまわきやすし)氏が選出され、東京パラリンピック開催が成功するために大きな後押しとなった。

○障がい者スポーツの普及・振興

障がい者が地域で日常的にスポーツに参加できる環境が実現できるよう引き続き、都道府県・指定都市の障がい者スポーツ協会を中心とした、障がい者スポーツイベント企画、障がい者スポーツ指導員によるスポーツ教室の開催など「地域におけるスポーツ振興事業」を推進した。さらに、日常的なスポーツ環境を整えるため、障がい者と一般のスポーツ組織・指導者が互いに連携を図る機会を増やすための事業を推進した。

また、広報による国民理解、全国障害者スポーツ大会の開催、競技別大会の開催、障がい者スポーツ指導者の養成等、障がい者スポーツの普及・振興の元となる地域連携の基盤整備を行った。

○競技力向上対策の推進

ソチ2014パラリンピック冬季競技大会での日本選手の活躍は、障がい者やその家族に勇気や自信をもたらし、また、多くの日本国民に感動を与え、障がい者に対する理解を深めることにつながった。このほか夏季デフリンピック競技大会、アジアユースパラ競技大会に日本選手団を派遣した。

昨年9月の東京2020オリンピック・パラリンピック開催の決定や平成26年4月の文部科学省への移管が決定するなど、日本の障がい者スポーツの環境が大きく変化し、この前進の波に取り残されないよう選手強化を一層推進する体制強化に努めた。

本年度は、大幅に増額された国庫補助金の選手強化費については、公平、効率的かつ適正な執行に留意するとともに、国際競技大会において好成果を挙げるため、パラリンピック競技の重点強化競技を中心に医科学に基づいた競技力向上に努めた。

Ⅱ 国際障がい者スポーツ総合大会への選手及び役員の派遣

本年度の国際障がい者スポーツ総合大会関連の選手及び役員の派遣は以下の通りである。

1 ソチ 2014 パラリンピック冬季競技大会

(1)事前視察

日 程 平成 25 年 8 月 4 日(日)～10 日(土)

場 所 ロシア・ソチ

(2)事前登録会議

日 程 平成 26 年 1 月 8 日(水)

場 所 ロシア・ソチ

(3)大会実施

開催期間 平成 26 年 3 月 7 日(金)～16 日(日)

派遣期間 平成 26 年 2 月 28 日(金)～3 月 20 日(木)

開 催 地 ロシア・ソチ

運営主体 国際パラリンピック委員会(IPC)

ソチ 2014 オリンピック・パラリンピック大会組織委員会

参加国・地域 45 カ国・地域(前回 44 カ国・地域)

実施競技 アルペンスキー、バイアスロン、クロスカントリースキー、
アイススレッジホッケー、車いすカーリング (5 競技)

※日本は下線の 3 競技に参加

日本代表選手団概要

参加人数 選手 20 名 役員 35 名 計 55 名

団 長 荒木 雅信(公益財団法人日本障害者スポーツ協会理事・科学委員長
日本パラリンピック委員会運営委員、強化委員)

副 団 長 中森 邦男(公益財団法人日本障害者スポーツ協会強化部長
日本パラリンピック委員会事務局長)

主 将 森井 大輝(アルペンスキー)

旗 手 太田 渉子(クロスカントリースキー・バイアスロン)

成 績 金 3 個 銀 1 個 銅 2 個(計 6 個)

2 第 22 回夏季デフリンピック競技大会(通称:ソフィアデフリンピック)

(派遣主体:全日本ろうあ連盟スポーツ委員会)

(1)大会視察

日 程 平成 25 年 7 月 25 日(木)～8 月 1 日(木)

場 所 ブルガリア・ソフィア

(2)大会実施

開催期間 平成 25 年 7 月 26 日(金)～8 月 4 日(日)

派遣期間 平成 25 年 7 月 22 日(月)～8 月 7 日(水)

開 催 地 ブルガリア・ソフィア

運営主体 国際ろうスポーツ委員会

ソフィア 2013 デフリンピック大会組織委員会

参加国・地域 90 カ国・地域

実施競技 陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボウリング、サイクリング、
サッカー、ハンドボール、柔道、空手、オリエンテーリング、射撃、水泳、
卓球、テコンドー、テニス、バレーボール、ビーチバレーボール、
レスリング(18 競技) ※日本は下線の 12 競技に参加

日本選手団 選手 149 名 役員 70 名 計 219 名

成 績 金 2 個 銀 10 個 銅 9 個 計 21 個(獲得総数過去最多)

3 アジアユースパラ競技大会マレーシア 2013

(1)事前視察

日 程 平成 25 年 6 月 11 日(火)～6 月 15 日(土)

場 所 マレーシア・クアラルンプール

(2) 事前登録会議

日 程 平成 25 年 9 月 21 日(土)～9 月 24 日(火)

場 所 マレーシア・クアラルンプール

(3)大会実施

開催期間 平成 25 年 10 月 26 日(日)～30 日(水)

派遣期間 平成 25 年 10 月 21 日(月)～11 月 2 日(土)

運営主体 アジアパラリンピック委員会(APC)

マレーシアアジアユースパラ競技大会組織委員会(MAYPGOC)

年齢区分 競技によって異なるが、大半の競技で 14 歳～21 歳

参加国・地域 27 カ国・地域

実施競技 アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボッチャ、チェス、ゴールボール
柔道、パワーリフティング、水泳、テンピンボウリング、卓球
シットイングバレーボール、車椅子バスケットボール、車いすテニス
(14 競技) ※日本は下線の 6 競技に参加

日本選手団概要

参加人数 選手 93 名 役員 72 名 計 165 名

団 長 大槻 洋也(公益財団法人日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック
委員会運営委員、強化委員長)

副 団 長 三上 真二(公益財団法人日本障害者スポーツ協会技術委員)

主 将 西 勇輝(陸上競技)

旗 手 森下 友紀(水泳)

成 績 金 39 個 銀 20 個 銅 25 個 計 84 個

Ⅲ 競技力向上対策の推進

1 競技団体に対する助成

(1)助成金配分方針

パラリンピック等の競技実績等による基礎配分と、重点強化指定競技への特別配分により、対象競技団体の助成額を設定した。

(2)助成対象団体

日本パラリンピック委員会加盟の以下の競技団体とした。

1)肢体不自由、視覚障がい関連競技団体

- 2)聴覚障がい関連競技団体
- 3)知的障がい関連競技団体
- (3)助成金を用いて実施できる対象事業
 - 1)強化合宿

競技団体の強化指定選手を対象として、国内外で実施する強化合宿
 - 2)国際競技大会へのチーム派遣

JPC が派遣する総合競技大会を除く、各競技の世界選手権、ワールドカップ、地域選手権、国際オープン大会等、競技団体が独自に日本チームを編成、派遣する国際競技大会
 - 3)強化会議の開催

競技団体の強化活動計画の検討や実施状況報告等の為に、競技団体が実施する強化委員会等の会議の開催
 - 4)その他の強化活動に必要な事業

2 海外コーチ招聘事業

パワーリフティング、ウィルチェアーラグビー、クロスカントリースキーの3競技について、パラリンピック等においてメダルを多く獲得した国から、海外コーチ・役員を招聘し、選手強化や最新の海外動向等に関する指導を受け、日本選手の総合的な国際競技力向上につなげた。

3 競技別指導者養成事業

本会が制定する「公認 障害者スポーツ指導者制度」に基づく障害者スポーツコーチ、障害者スポーツ医、障害者スポーツトレーナー講習会の他、各競技における指導者の養成及び資質向上のための支援等を行った。

- (1)国際資格取得講習会への派遣助成
- (2)JPC 加盟競技団体が開催する指導者養成講習会・研修会への助成
- (3)JPC 選手強化の為に医科学サポート研修会の開催

期 間 平成 25 年 11 月 16 日(土)～17 日(日)

場 所 川村義肢株式会社本社

参加者 60 名

内 容 用具レギュレーションとスポーツ倫理、JPC 医科学サポート事例発表、クラス分けの海外動向、2020 東京に向けた JPC における選手強化等

4 ジャパンパラ競技大会の開催

パラリンピックや世界選手権大会等を目指すトップレベルの選手のために、引き続き国際組織のクラス分け、国際組織の競技規則を適用したレベルの高い競技大会として本年度は平成 24 年度同様に次の 5 競技を実施した。

なお、開始当初の開催目的が達成されたとされる競技もあり、JPC 強化委員会を中心とした検討委員会による見直しの結果、アーチェリーの開催を今年度で終了し、来年度よりゴールボール、ウィルチェアーラグビーの2競技を新たに追加開催する計画となった。

競技名	開催日	場 所	人数	備 考
水泳	平成 25 年 7 月 14 日(日) ～15 日(月)	なみはやドーム (大阪府門真市)	229 名	IPC 公認大会
陸上競技	平成 25 年 9 月 7 日(土) ～8 日(日)	維新百年記念公園陸上競技場 (山口県山口市)	232 名	IPC 公認大会
アーチェリー	平成 25 年 9 月 28 日(土) ～29 日(日)	埼玉県障害者交流センター (さいたま市浦和区)	36 名	
アルペン スキー	平成 26 年 1 月 25 日(土) ～28 日(火)	白馬八方尾根スキー場 (長野県白馬村)	49 名	IPC 公認大会
クロスカントリー スキー	平成 26 年 2 月 7 日(金) ～9 日(日)	富沢クロスカントリーコース (北海道旭川市)	42 名	

※人数はエントリー数

5 競技別大会

競技団体との共催により競技力向上のために次の大会を実施した。

(1) 内閣総理大臣杯争奪第 41 回日本車椅子バスケットボール選手権大会

(公益財団法人 JKA 補助事業)

開催期間 平成 25 年 5 月 3 日(金)～5 日(日)

開催場所 東京体育館(東京都渋谷区)

参 加 数 全国 10 ブロックでの予選会を勝ち抜いた 15 チーム及び全国選抜車椅子バスケットボール選手権大会優勝チームの計 16 チーム

(2) 厚生労働大臣杯争奪第 26 回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会

開催期間 平成 25 年 6 月 8 日(土)～9 日(日)

開催場所 パークアリーナ小牧(愛知県小牧市)

参 加 数 各地域の予選会を勝ち抜いた 14 チーム

(3) 厚生労働大臣杯争奪第 42 回全国身体障害者アーチェリー選手権大会

開催期間 平成 25 年 9 月 22 日(日)

開催場所 奈良県心身障害者福祉センター

参 加 数 69 名(男子 58 名・女子 11 名)

(4) 第 33 回大分国際車いすマラソン大会

開催期間 平成 25 年 10 月 27 日(日)

開催場所 大分市内公認コース

参 加 数 マラソン 91 名 ハーフマラソン 156 名

(5) 2013 パラサイクリング選手権大会(公益財団法人 JKA 補助事業)

【ロード大会】

開催期間 平成 25 年 6 月 9 日(日)

開催場所 秋田県大潟村ソーラースポーツライン(秋田県南秋田郡)

参 加 数 19 名(男子 17 名 女子 2 名) ※パイロットを含む

【トラック大会】

開催期間 平成 25 年 7 月 27 日(土)～28 日(日)

開催場所 伊豆ベロドローム(静岡県伊豆市)

参 加 数 12 名(男子 10 名 女子 2 名) ※パイロットを含む

(6) 第 24 回全日本女子車椅子バスケットボール選手権大会

開催期間 平成 25 年 11 月 2 日(土)～3 日(日)
開催場所 グリーンアリーナ神戸(神戸市須磨区)
参加数 全国7ブロックでの予選会優勝チーム

6 医・科学・情報サポート推進事業の実施

各競技の日本代表選手の競技力強化の為に、医科学面の支援及び体制構築を図った。

- (1)JPC・競技団体・サポートスタッフのネットワーク構築
- (2)対象選手の測定分析(体力測定、医学的管理、栄養調査、心理調査、動作解析)
- (3)強化活動への医科学的支援(心理サポート、栄養指導、映像技術支援、トレーナー支援)

IV 障がい者スポーツの普及

1 第 13 回全国障害者スポーツ大会(スポーツ祭東京 2013)

(1)本大会(公益財団法人 JKA 補助事業)

会 期 平成 25 年 10 月 12 日(土)～14 日(月)
愛 称 スポーツ祭東京 2013
大会スローガン 東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート
参加人数 選手 3,308 名 役員 2,154 名(計 5,462 名) ※大会開催時
オープン競技 ウィルチェアーラグビー、グランドゴルフ、車いすフェンシング
(17 競技) ゴールボール、視覚障がい者ボウリング、障がい者シンクロナイズ
ドスイミング、スポーツチャンバラ、スポーツ吹矢、精神障がい者フ
ットサル、ダーツ、手のひら健康バレー、バドミントン、
ハンドサッカー、ブラインドサッカー、ボート、ボッチャ、ユニカール

(2)地区予選会(公益財団法人 JKA 補助事業)

会 期 平成 25 年 4 月～6 月
内 容 ブロックごとに身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者の団
体競技について予選を行う。

	団体競技名	北海道 ・東北	関東	北信越 ・東海	近畿	中国 ・四国	九州	開催県
身体	車椅子バスケットボール	仙台市	埼玉県	愛知県	神戸市	高知県	長崎県	東京都
	グランドソフトボール	岩手県	埼玉県	愛知県	大阪市	広島県	鹿児島県	東京都
	バレーボール(男子)	札幌市	栃木県	愛知県	兵庫県	広島市	福岡市	東京都
	バレーボール(女子)		神奈川県	岐阜県	兵庫県	広島市	沖縄県	東京都
知的	バスケットボール(男子)	秋田県	横浜市	長野県	大阪市	高知県	福岡県	東京都
	バスケットボール(女子)	秋田県	神奈川県	愛知県	大阪市	岡山県	沖縄県	東京都
	ソフトボール	宮城県	横浜市	岐阜県	滋賀県	岡山県	長崎県	東京都
	フットベースボール	岩手県	埼玉県	静岡県	神戸市	山口県	熊本県	東京都
	バレーボール(男子)	宮城県	埼玉県	愛知県	兵庫県	山口県	北九州市	東京都
	バレーボール(女子)	宮城県	千葉県	岐阜県	兵庫県	高知県	福岡県	東京都
	サッカー	札幌市	茨城県	岐阜県	兵庫県	広島市	沖縄県	東京都
精神	バレーボール	青森県	横浜市	浜松市	大阪府	岡山県	福岡市	東京都

2 競技別大会

競技団体との共催により障がい者スポーツ普及のために次の大会を実施する。

- (1) 第 23 回国際盲人マラソンかすみがうら大会(公益財団法人 JKA 補助事業)

開催期間 平成 25 年 4 月 21 日(日)

開催場所 川口運動公園をスタート・ゴールとする霞ヶ浦湖岸周回コース
(日本陸連公認)

参加数 盲人 78 名 車いす 10 名 (一般参加 18,936 名)

- (2) 第 25 回全国車いす駅伝競走大会

開催期間 平成 26 年 3 月 9 日(日) 11 時 30 分スタート

開催場所 国立京都国際会館前スタート →
西京極総合運動公園陸上競技場ゴール 5 区間 21.3 キロ

参加数 26 チーム

- (3) 厚生労働大臣杯争奪第 43 回全国身体障害者スキー大会

開催期間 平成 26 年 2 月 27 日(木)～3 月 1 日(土)

開催場所 山形県もがみ赤倉温泉スキー場(山形県最上町)

3 障害者スポーツ指導者の育成

(1)障害者スポーツ指導者養成事業

①初級および中級障害者スポーツ指導員養成講習会の認定

都道府県・指定都市、各県障害者スポーツ協会、その他関係機関が実施する初級および中級スポーツ指導員養成講習会の認定を行った。

1)初級障害者スポーツ指導員養成講習会

都道府県・政令指定都市主催講習会 64 回

その他の団体主催講習会 1 回

2)中級障害者スポーツ指導員養成講習会

都道府県主催講習会 3 回

日本体育協会資格保持者対象講習会 2 回

理学療法士資格保持者対象講習会 2 回

②障害者スポーツ指導員等各種講習会の開催

研 修 会 名	開 催 期 日	開 催 場 所	受講者数 (定員)
中級障害者スポーツ指導員養成講習会(1)	前期 平成 25 年 7 月 17 日(水) ～21 日(日) 後期 平成 26 年 1 月 23 日(木) ～27 日(月)	札幌市身体障害者福祉 センター	15 名 (40 名)
中級障害者スポーツ指導員養成講習会(2)	前期 平成 25 年 8 月 21 日(水) ～25 日(日) 後期 平成 26 年 2 月 7 日(金) ～11 日(火・祝)	和歌山県子ども・女性・ 障害者相談センター	28 名 (40 名)
中級障害者スポーツ指導員養成講習会(3) (日本体育協会指導者対象)	平成 25 年 9 月 13 日(金) ～16 日(月・祝)	広島市中心身障害者福祉 センター	43 名 (40 名)

研 修 会 名	開 催 期 日	開 催 場 所	受講者数 (定員)
上級障害者スポーツ指導員養成講習会	前期 平成 25 年 8 月 2 日(金) ～5 日(月) 後期 平成 25 年 11 月 30 日(土) ～12 月 3 日(火)	福岡市立障がい者 スポーツセンター	34 名 (40 名)
障害者スポーツコーチ養成講習会	前期 平成 25 年 6 月 28 日(金) ～30 日(日) 後期 平成 25 年 12 月 13 日(金) ～15 日(日)	味の素ナショナルトレーニング センター	12 名
障害者スポーツトレーナー養成講習会	1 次 平成 25 年 11 月 8 日(金) ～10 日(日)	障害者スポーツ文化センター 横浜ホール	28 名
	2 次 平成 26 年 1 月 10 日(金) ～12 日(日)		39 名
障害者スポーツ医養成講習会	平成 26 年 2 月 21 日(金) ～23 日(日)	東京都障害者総合 スポーツセンター	42 名 (30 名)

(2)資質向上のための研修事業

研 修 会 名	開 催 期 日	開 催 場 所	受講者数 (定員)
全国障害者スポーツ大会 障害区分判定研修会	平成 25 年 6 月 15 日(土) ～16 日(日)	長崎県総合福祉センター	35 名 (60 名)
ステップアップ研修会(1)	平成 25 年 12 月 7 日(土) ～8 日(日)	かがわ総合リハビリテーションセンター	32 名 (50 名)
ステップアップ研修会(2)	平成 26 年 1 月 18 日(土) ～19 日(日)	北九州市障害者スポーツセンター アレアス	42 名 (50 名)
資格取得認定校特別研修会	平成 25 年 12 月 16 日(月)	戸山サンライズ	42 校 50 名
第 9 回障害者スポーツ指導者 全国研修会	平成 25 年 11 月 23 日(土・祝) ～24 日(日)	富山大学 五福キャンパス	113 名

(3)障害者スポーツ指導員資格取得認定校

学校教育法に基づく大学・短期大学及び専門課程をおく専修学校のうち、当協会が特に認めた学校を障害者スポーツ指導員資格取得認定校とした。

- ①初級資格認定校 146 校(大学 56 校、短期大学 18 校、専門学校 72 校)
- ②中級資格取得認定校 22 校

4 地域における障がい者スポーツの振興

当協会公認の障害者スポーツ指導者の協力を得て、地域の特性を考慮した地域のスポーツ振興のための事業をブロックごとに実施した。

- ①検討会議
 - 1)日程 平成 25 年 5 月 9 日(木)
 - 内容 委託先の検討 等
 - 2)日程 平成 26 年 3 月 13 日(木)
 - 内容 各県からの報告について 等

②委託内容一覧

No.	団体名	事業名／内容
1	(一社)秋田県障害者スポーツ協会	平成25年度秋田県内における障害者スポーツ振興事業
		① 障害者スポーツ講習会
		② 障害者スポーツ交流会
		③ 総合型地域スポーツクラブ自主運営に係る支援
2	(財)福島県障がい者スポーツ協会	スポーツパワー ふくしま元気回復事業
		① 地域スポーツ交流事業の開催
3	(一社)埼玉県障害者スポーツ協会	平成25年度埼玉県ふれあい地域振興事業
		① ふれあい野球教室
		② ふれあいティーボール教室、ふれあいティーボール大会
		③ ふれあいフットサル大会
		④ ふれあいサッカー教室
		⑤ 彩の国ハート&スマイル四面卓球バレー大会
4	新潟県障害者スポーツ協会	佐渡島障害者スポーツ活性化事業
		① 巡回スポーツ教室(佐渡)
		② 佐渡障害者フライングディスク大会
		③ 障害者スポーツ支援者研修会
5	(公財)静岡県障害者スポーツ協会	静岡県における障害者スポーツの地域連携振興事業
		① 静岡県地域ネットワーク型障害者スポーツトライアル教室開催事業
		② 静岡県障害者スポーツフォーラム開催事業
6	(公財)島根県障害者スポーツ協会	島根県における障害者スポーツの振興事業
		① ボッチャ競技普及員の養成
		② ボッチャ教室の開催
7	(一社)山口県障害者スポーツ協会	山口県における障害者スポーツ地域推進事業
		① 地域障害者スポーツ教室開催事業
		② 障害者スポーツ体験教室事業
		③ 地域障害者スポーツ大会開催事業
		④ 障害者スポーツクラブ指導者派遣・養成事業
		⑤ 2013全国障害者スポーツ大会特集号の作成配付事業
8	(社福)高知県社会福祉協議会 障害者スポーツセンター	重度障害者アウトドア体験教室事業
		① 重度障害者アウトドア体験事業
9	福岡県障害者スポーツ協会	福岡県内における障害者スポーツ地域振興事業
		① 知的障害児水泳教室
		② 知的障害児バスケットボール教室
		③ フロアーバレーボール教室
		④ 指導者の派遣事業
		⑤ 選手強化事業
10	(特)沖縄県障がい者スポーツ協会	沖縄県における障がい者スポーツの振興事業
		① スイミングキャンプ
		② 知的障がい者のサッカー教室
		③ アダプテッドスポーツフェスタ
11	(社福)神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センター	神戸市における障がい者スポーツの地域展開事業
		① 地域でのスポーツ教室実施
		② 障害者スポーツ体験イベント開催による普及啓発

5 障がい者スポーツの広報

本年度は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致の重要な年であり、また、冬季パラリンピックの開催年であるため、下記により積極的な情報発信・提供を行い、障がい者スポーツの普及振興に努めた。

(1)ホームページによる情報発信

障がい者スポーツの普及・啓発に関する情報をはじめ、当協会主催事業の案内・報告、国際大会派遣に関する情報提供、YouTube 専用チャンネルを新設・映像配信を行い、障がい者スポーツの理解促進に努めた。

(2)マスメディアへの情報提供

報道機会の拡大につながる積極的な PR 並びにニュース素材の収集・提供を行った。

(3)ポスター、広報冊子等、普及・啓発素材を作成・配布した。

①ジャパンパラ周知用ポスター

②パラリンピック冬季競技ガイドブック

③ソチパラリンピック日本代表選手団ハンドブック

④「歴史と現状」の改訂・発行、ウェブサイトへの掲載

(4)協会フェイスブックを新設し、各種情報提供を開始

(5)各種イベント会場への PR ブースの出展

①大阪マラソン EXPO

②東京マラソン EXPO

③文科省主催「スポーツ祭り」

6 調査研究事業

(1)精神障害者スポーツ実態調査研究委員会

3 カ年計画の最終年である今年度は、全国障害者スポーツ大会における精神障がい者の個人競技導入に向けて、委員会、視察を行い、昨年度までの調査研究と合わせて、提言としてまとめた。

第 1 回 日程 平成 25 年 4 月 15 日(月)

場所 人形町区民館

第 2 回 日程 平成 25 年 8 月 12 日(月)

場所 人形町区民館

第 3 回 日程 平成 25 年 12 月 9 日(月)

場所 人形町区民館

第 4 回 日程 平成 26 年 2 月 12 日(水)

場所 日本橋社会教育会館

(2)女性と障害者スポーツに関する調査研究委員会

3 カ年計画の最終年である今年度は、昨年の分析結果をもとに報告書を作成した。

第 1 回 日程 平成 25 年 5 月 16 日(木)

場所 順天堂大学

第 2 回 日程 平成 25 年 12 月 3 日(火)

場所 順天堂大学

V 事業活動推進のための体制強化

1 日本の障がい者スポーツの将来像(ビジョン)の推進

スポーツ基本法及びスポーツ基本計画の理念・方針に沿って、2030 年の日本の障がい者スポーツの将来像を見据えた将来像(ビジョン)をまとめた。

本年は、ビジョン推進のスタートの年であり、当該ビジョンが広く社会の共通認識として理解が得られるよう、国をはじめ関係団体、企業等に周知するとともに、その第1歩として各ビジョンについて下記の取り組みを行った。

(1) スポーツ施策の一元化

【概要】スポーツは、障がい、年齢、性別などによって区別されるものでなく、スポーツの中に障がい者が参加するものがあるとの観点からスポーツ施策の一元化について、関係機関に働きかける。

【主な取り組み】

平成 26 年度より国庫補助金での事業のすべてが文部科学省へ移管されるにあたり、基本的な仕組み、考え方についての変更がないことから、今までに増して一般スポーツ団体との協働を図り、レベルの高い事業が行える体制の検討を行った。

(2) 障がい者スポーツの振興体制の整備

【概要】関係団体との連携を深め、日本を代表し統括する JSAD を中心とした障がい者スポーツ振興体制を構築する。

【主な取り組み】

- ・各都道府県・指定都市スポーツ協会への実態調査を実施し、現状を把握・検討した結果から今後の障がい者のスポーツのあり方、方向性について検討した。
- ・障害者スポーツ指導員の養成対象者の拡大及び活動の場の拡充を検討し、併せて指導者制度の見直しを行った。
- ・障がい者スポーツセンターとの連携の強化。

(3) 障がい者スポーツの普及・振興

【概要】全国障害者スポーツ大会を含めたイベント等を通じて、障がい者スポーツに参加するきっかけを作るとともに、ハード・ソフト両面で障がい者スポーツに対する理解を深め、障がい者が日常的にスポーツを行う環境を整備する。

【主な取り組み】

- ・全国障害者スポーツ大会の新規導入競技・種目の検討を行った。
- ・ジャパンパラの現状実施競技の見直し。(平成 25 年度でアーチェリー競技終了。平成 26 年度よりウィルチェアーラグビー、ゴールボールを実施することとした。)

(4) 国際競技力の強化

【概要】パラリンピックをはじめとする国際大会での成績向上、障がい者スポーツにおける国際的な日本の地位向上、及び国内での障がい者スポーツ・パラリンピックの評価向上を目指す。

【主な取り組み】

- ・JPCに強化委員会を設置し、2020 東京に向けた強化プランの策定を行った。
- ・障がい者ナショナルトレーニングセンター(仮称)設置に向けて内閣官房を中心に検討を行った。

(5) 障がい者スポーツの国民理解の促進

【概要】障がい者スポーツの理解推進及び普及発展に不可欠な情報の発信と共有化

への取り組みに向け、専門的事業者も含めた検討を行い、計画的な広報事業を推進する。

【主な取り組み】

- ・You Tube の導入
- ・フェイスブックによる情報発信
- ・ビジョン発表記者会見及びビジョンパンフレットの配布
- ・各種大会のPR活動
(アジアユースパラ、ソチパラリンピック、ジャパンパラ)
- ・障がい者スポーツ info2014 の開催

(6) 障がい者スポーツの支援体制の充実

【概要】オフィシャルパートナーシップの他に、企業及び個人が、障がい者スポーツの支援に参加できるプログラムを推進する。

【主な取り組み】

- ・JOC協力のもと、障がい者アスリートの就労、競技活動の充実を図る。

(7) 財政基盤の充実・安定化

【概要】全ての活動に通じる資金獲得について、現状の財政を洗い出し、多方面からの支援・協力を得ながら財政基盤を安定させるとともに、計画的な予算執行を推進する。

【主な取り組み】

- ・税額控除のできる団体となり、寄付の利便性の充実を図った。
- ・東京 2020 パラリンピックの開催に伴い、新たな「オフィシャルスポンサーシッププログラム(2015年1月1日から実施)」を作成を検討し、現スポンサーへの継続説明はもとより、新規スポンサー獲得に向けた企業及び広告代理店への説明を開始した。
- ・チャリティ事業への参画(大阪マラソン・東京マラソン)

(8) 協会の組織体制の強化

【概要】活動の基盤となる、JSAD の組織体制について、役員・職員・委員会等の各役割を見直し、効率的に目的達成する為の体制を構築する。

【主な取り組み】

- ・職員の増員。
- ・組織体制の変更。
旧 5 部体制(総務部・経理部・指導部・企画情報部・養成研修部)から 4 部体制(総務部・スポーツ推進部・企画情報部・強化部)へ移行。
- ・危機管理体制についての情報収集(災害、事故、職員の健康管理、情報の管理等)
- ・情報共有の推進。
- ・職員の資質向上に向けた取り組み。
- ・協会名称については社会的風潮として「害」の字の持つイメージを避けて変更及び英語の表記についても変更を予定。また、協会関係の公式名称等以外の「障害」の表記を「障がい」に変更していく。
(日本障害者スポーツ協会→日本障がい者スポーツ協会)
- ・協会事務所移転の検討。

(9)検討会議の開催

①ビジョンアクションプランの進め方打ち合わせ会議

日 時 平成 25 年 4 月 23 日(火) 15:30～17:30

場 所 中央区立総合スポーツセンター

出 席 17 名

議 題 今後のアクションプランの進め方について

②第 1 回アクションプラン推進会議

日 時 平成 25 年 7 月 23 日(火)15:30～18:00

場 所 東京シティアターミナル

出 席 10 名

③第 2 回アクションプラン推進会議

日 時 平成 25 年 8 月 30 日(金)14:30～17:00

場 所 人形町区民館

出 席 13 名

④第 3 回アクションプラン推進会議

日 時 平成 25 年 9 月 24 日(火)14:30～17:00

場 所 日本橋公会堂

参 加 11 名

⑤第 4 回アクションプラン推進会議

日 時 平成 25 年 11 月 7 日(木)14:00～17:00

場 所 人形町区民館

参 加 9 名

⑥第 5 回アクションプラン推進会議

日 時 平成 25 年 11 月 29 日(金)14:30～17:00

場 所 人形町区民館

参 加 13 名

⑦第 6 回アクションプラン推進会議

日 時 平成 25 年 12 月 26 日(木)10:00～12:00

場 所 人形町区民館

参 加 9 名

2 暴力根絶への取組み

スポーツ場面からの暴力及びセクシャルハラスメントの根絶に向け「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」に調印(日本体育協会・日本オリンピック委員会・全国高等学校体育連盟・日本中学校体育連盟)すると共に、日本体育協会等他団体と連携し、必要な調査及び検討を行い、本協会及び関係団体で実行すべき事項をまとめ、提言する。

また、倫理委員会を設置し、問題発覚時に対応できる体制を作った。

(1)スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い

日 時 平成 25 年 4 月 25 日(木)13:00～16:30

場 所 日本青年館 大ホール

内 容 基調講演「スポーツ界における暴力行為根絶に向けて」
シンポジウム「スポーツ界における暴力行為根絶に向けて」
「暴力行為根絶宣言」の採択

(2)暴力行為根絶スローガン審査会

日 時 平成 25 年 7 月 1 日(月)14:00～15:00

場 所 公益財団法人日本体育協会

出 席 日本体育協会、日本オリンピック委員会、全国高等学校体育連盟、

日本中学校体育連盟、日本障害者スポーツ協会
応募総数 1479 件
審査結果 優秀賞(日本障害者スポーツ協会推薦)
「スポーツに あってはならない 拳の制裁」
大阪府 片岡 正教(かたおかまさたか) 氏

3 国庫補助金及び民間助成団体(日本スポーツ振興センター・JKA・福祉医療機構)助成金の確保

(1) 国庫補助事業

- ①障害者スポーツ振興事業
- ②総合国際競技大会派遣等事業
- ③総合国際競技大会指定強化事業

(2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター

①スポーツ振興基金助成金

スポーツ振興基金の運用益により、スポーツ団体、選手指導者等が行う活動に対して助成を行う。

平成 25 年度実績 19 事業(大会開催事業 12 件・強化支援事業 9 件)

②スポーツ振興くじ助成金

スポーツ振興くじ(toto や BIG)の収益を財源として、地方公共団体やスポーツ団体が行うスポーツ活動に対して助成を行うことで、わが国の豊かなスポーツ環境の整備を推進する。

平成 25 年度実績 11 事業

(3) 公益財団法人JKA

平成 25 年度は下記の 5 大会、1 事業に助成金の交付を受け実施した。

- ①第 13 回全国障害者スポーツ大会(スポーツ祭東京 2013)地区予選会
- ②内閣総理大臣杯争奪第 41 回日本車椅子バスケットボール選手権大会
- ③2013 パラサイクリング選手権大会
- ④第 23 回国際盲人マラソンかすみがうら大会
- ⑤パラリンピックユニホーム経費

(4) 独立行政法人福祉医療機構

平成 25 年度は以下の 3 件の事業に助成金の交付を受け実施した。

- ①ジャパンパラ競技大会開催事業
(陸上競技・水泳・アーチェリー・アルペンスキー・クロスカントリースキー)
- ②アジアユースパラ競技大会日本代表選手団派遣事業
- ③ソチ 2014 パラリンピック冬季競技大会日本代表選手団派遣事業

4 オフィシャルスポンサー制度の推進

現行の協賛制度をもとに引き続き協賛企業の獲得に努めるとともに、協賛企業との連帯を強め、障がい者スポーツ支援者の拡大に努めた。

なお、東京 2020 オリンピック・パラリンピック招致が実現したため、ジョイントマーケティング契約に基づき、協賛制度を 2014 年 12 月 31 日をもって終了し、2020 年 12 月 31 日まで凍結することになった。そこで、ジョイントマーケティング契約に抵触しない新しい協賛制度を創設することとし、現行協賛企業への関係維持の要請並びに新規協賛社獲得のための活動を開始した。

5 寄附活動の推進

従来からの寄附の継続を依頼するほか、昨年に引き続きパラリンピックメダル獲得者に対する報奨金及び選手の育成強化のための寄附活動を行った。

6 国際組織との連絡調整

国際パラリンピック委員会をはじめとする国際組織に加盟し、連絡・調整を図るため、本年度は次の国際会議等に参加した。

(1)INAS 総会・INAS Asia 総会・INAS 技術委員会

日 程 平成 25 年 4 月 28 日(日) INAS 総会
29 日(月)INAS 技術委員会
30 日(火)INAS Asia 総会

場 所 ブラジル・リオデジャネイロ

(2) IPC VISTA カンファレンス 2013

日 程 平成 25 年 5 月 1 日(水)～4 日(土)

場 所 ドイツ・ボン

(3) IPC 会長訪問(JSAD/JPC ビジョン説明)

日 程 平成 25 年 5 月 30 日(木)

場 所 イギリス・ロンドン郊外

(4) 2013 IBSA 総会

日 程 平成 25 年 8 月 30 日(金)～9 月 1 日(日)

場 所 デンマーク・コペンハーゲン

(5) 第 125 次 IOC 総会

日 程 平成 25 年 9 月 4 日(水)～8 日(日)

場 所 アルゼンチン・ブエノスアイレス

(6) 2013 APC カンファレンス

日 程 平成 25 年 9 月 7 日(土)～10 日(火)

場 所 ウズベキスタン・タシケント

(7) 2013 IWAS 総会

日 程 平成 25 年 9 月 18 日(木)～21 日(土)

場 所 オランダ・スタッズカナール

(8) APC 理事会・常任委員会

日 程 平成 25 年 10 月 24 日(木)常任委員会
25 日(金)理事会

場 所 マレーシア・クアラルンプール

(9) 2013IPC 総会・理事会

日 程 平成 25 年 11 月 22 日(金)開発プログラム
23 日(土)、24 日(日)総会
25 日(月)理事会

場 所 ギリシア・アテネ

特記事項 山脇康氏がIPC理事に当選された

(10) インチョン 2014 アジアパラ競技大会 第1回大会調整委員会

日 程 平成 26 年 2 月 20 日(木)～21 日(金)

場 所 韓国・インチョン

(11) IPC 理事会

日 程 平成 26 年 3 月 5 日(水)

場 所 ロシア・ソチ

7 アンチ・ドーピング活動の推進

(1)ドーピング検査事業 18 事業を実施した

No	大会名	大会期日	場所
1	第 23 回かすみがうらマラソン 兼国際盲人マラソンかすみがうら大会	4 月 21 日	川口運動公園陸上競技場 (埼玉県)
2	チャレンジ陸上 2013	4 月 21 日	水前寺競技場(熊本市)
3	第 41 回日本車椅子バスケットボール選手権大会	5 月 3～ 5 日	東京体育館(東京都)
4	西日本障害者パワーリフティング選手権大会	5 月 12 日	名古屋芸術大学 西春キャンパスL棟(名古屋市)
5	第 24 回日本身体障害者陸上競技選手権大会	6 月 8～ 9 日	大阪長居第 2 陸上競技場 (大阪府)
6	第 10 回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会	6 月 29 日	ウェーブスタジアム刈谷 刈谷市総合運動公園陸上競技場(愛知県)
7	第 18 回関東身体障害者 陸上競技選手権大会	7 月 6～ 7 日	野津田公園陸上競技場(東京都)
8	2013 日本ゴールボール選手権大会	10 月 11～ 13 日	青梅市総合体育館(東京都)
9	第 32 回大分国際車いすマラソン大会	10 月 27 日	大分市営陸上競技場(大分市)
10	第 24 回全日本女子車椅子 バスケットボール選手権大会	11 月 9～ 10 日	グリーンアリーナ神戸(神戸市)
11	IPC世界車いすダンススポーツ 選手権 2013	12 月 7～ 8 日	駒沢体育館(東京都)
12	第 14 回全日本障害者 パワーリフティング選手権大会	12 月 8 日	日本体育大学 世田谷キャンパススポーツ棟(東京都)
13	春季長距離記録会(水泳)	3 月 2 日	静岡県立水泳場(静岡市)
14	2013 ジャパンパラ水泳競技大会	7 月 14 日 ～15 日	なみはやドーム(大阪府)
15	2013 ジャパンパラ陸上競技大会	9 月 7 日～ 8 日	山口維新公園陸上競技場(山口県)
16	2013 ジャパンパラ アーチェリー競技大会	9 月 28 日	埼玉県障害者交流センター
17	2014 ジャパンパラ アルペンスキー競技大会	1 月 25 日 ～28 日	白馬八方尾根スキー場(長野県)
18	2014 ジャパンパラ クロスカントリースキー競技大会	2 月 7 日～ 9 日	富沢クロスカントリーコース(旭川市)

(2)アンチ・ドーピング教育・研修事業 19 事業を実施した

No	大会名	大会期日	場所
1	第23回かすみがうらマラソン 兼国際盲人マラソンかすみがうら大会	平成25年4月21日(日)	川口運動公園陸上競技場 (茨城県土浦市)
2	チャレンジ陸上2013 (旧九州チャレンジ陸上競技大会)	平成25年4月21日(日)	水前寺競技場(熊本県熊本市)
3	第41回日本車椅子バスケットボール選手権大会	平成25年5月3日(金) ～5日(日)	東京体育館(東京都渋谷区)
4	西日本障害者パワーリフティング選手権大会	平成25年5月12日(日)	名古屋芸術大学西春キャンパスL棟 (愛知県名古屋市)
5	第24回日本身体障害者陸上競技選手権大会	平成25年6月8日(土) ～9日(日)	大阪長居第2陸上競技競技場 (大阪府長居市)
6	第10回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会	平成25年6月29日(土)	ウェーブスタジアム刈谷 (愛知県刈谷市)
7	第18回関東身体障害者陸上競技選手権大会	平成25年7月6日(土) ～7日(日)	町田市立野津田公園陸上競技場 (東京都野田市)
8	2013ジャパンパラ水泳競技大会	平成25年7月13日(土) ～15日(月)	なみはやドーム(大阪府門真市)
9	2013ジャパンパラ陸上競技大会	平成25年9月7日(土) ～8日(日)	山口維新百年記念公園陸上競技場 (山口県山口市)
10	2013ジャパンパラアーチェリー競技大会	平成25年9月28日(土) ～29日(日)	埼玉県障害者交流センター (埼玉県さいたま市)
11	2013日本ゴールボール選手権大会	平成25年10月13日(土) ～14日(月)	青梅市総合体育館 (東京都青梅市)
12	第32回大分国際車いすマラソン大会	平成25年10月27日(日)	大分市営陸上競技場 (大分県大分市)
13	第24回全日本女子車椅子バスケットボール選手権大会	平成25年11月9日(土) ～10日(日)	グリーンアリーナ神戸 (兵庫県神戸市)
14	アジア太平洋車いすダンススポーツ選手権2013	平成25年12月7日(土) ～8日(日)	駒沢オリンピック公園 総合運動場体育館(東京都世田谷区)
15	第14回全日本障害者パワーリフティング選手権大会	平成25年12月8日(日)	日本体育大学世田谷キャンパス (東京都世田谷区)
16	2014ジャパンパラクロスカントリースキー競技大会	平成26年2月8日(日)	富沢クロスカントリーコース (北海道旭川市)
17	2014ジャパンパラアルペンスキー競技大会	平成26年1月25日(日) ～28日(月)	白馬八方尾根スキー場 (長野県北安曇郡)
18	春季長距離記録会(水泳)	平成26年3月2日(日)	静岡県立水泳場(静岡県静岡市)

8 文部科学省及び日本体育協会との連携強化

- (1)生涯スポーツ体力づくり全国会議 2014(文部科学省主催)参加と分科会の開催
- (2)生涯スポーツ推進委員会(日本体育協会主催)
- (3)全国スポーツ指導者連絡会議(日本体育協会主催)
- (4)文部科学省委託の調査研究への参画
- (5)日本体育協会スポーツ少年団活動開発会議への参加

9 東日本大震災への支援

平成 24 年度に引き続き、公益財団法人日本体育協会からの協力依頼に基づき、関係団体へ「東日本大震災復興支援」の冠名称を付け、諸事業を行うよう呼びかけた。

10 関係機関との会議開催等

- (1)平成 25 年度障害者スポーツ競技団体協議会
日 時 平成 26 年 2 月 18 日(火)12:00～15:30
場 所 ホテル日航東京 1 階 オリオン

(2)平成 25 年度障害者スポーツ協会協議会、障害者スポーツ指導者協議会

日 時 平成 26 年 2 月 19 日(水)12:00～15:30

場 所 ホテル日航東京 1 階 ペガサス

(3)障がい者スポーツ info2014

日 時 平成 26 年 2 月 20 日(木)10:00～12:00

場 所 ホテル日航東京 1 階 オリオン

(4)理事会・評議員会の開催

①評議員会

1)定時評議員会

日 時 平成 25 年 6 月 24 日(月) 13:30～15:00

場 所 東京シティ・エアターミナル

議決内容 ・議長の選出について

・平成 24 年度決算報告書(案)について

・理事の選任について(全員及び常務理事候補者の選考報告)

2)臨時評議員会

日 時 平成 26 年 2 月 26 日(水) 13:30～15:30

場 所 東京シティ・エアターミナル

議決内容 ・理事の選任について

・評議員の辞任について

・理事(常務理事候補者の選任方針等)について

②理事会

1)定例理事会

日 時 平成 25 年 6 月 7 日(金) 13:30～15:30

場 所 東京シティ・エアターミナル

議決内容 ・平成 24 年度事業報告(案)について

・平成 24 年度決算報告書(案)について

・事務局長の任命について

・組織規程の変更(案)について

2)臨時理事会

日 時 平成 25 年 6 月 24 日(月) 15:00～16:00

場 所 東京シティ・エアターミナル

議決内容 ・人事案件について(会長・副会長・常務理事の選任)

・倫理委員会委員の選任について(案)

・平成25年度収支補正予算書(案)について

・平成25年度公益財団法人JKA競輪補助事業の受託(案)について

3)定例理事会

日 時 平成 25 年 9 月 18 日(水)13:30～15:30

場 所 東京シティ・エアターミナル

議決内容 ・報告事項のみ

4)定例理事会

日 時 平成 25 年 12 月 20 日(金)13:30～16:00

場 所 東京シティ・エアターミナル

議決内容 ・定款の変更等について

・評議員会の決議について

5)定例理事会

日 時 平成 26 年 3 月 27 日(木)13:30～15:30

場 所 東京シティ・エアターミナル

- 議決内容 ・平成 25 年度第 2 次収支補正予算(案)について
 ・平成 26 年度事業計画(案)
 ・平成 26 年度収支予算(案)について
 ・日本パラリンピック委員会運営委員会委員の委嘱について
 ・平成 26 年度定時評議員会の招集(案)について

(5)専門委員会(技術委員会・医学委員会・科学委員会)の開催

①技術委員会

第 1 回 日程 平成 25 年 6 月 4 日(火)

場所 人形町区民館

第 2 回 (小委員会)

日程 1)平成 25 年 11 月 18 日(月)

2)平成 25 年 11 月 28 日(木)

第 3 回 日程 平成 25 年 12 月 19 日(木)

場所 浜町区民館

③医学委員会

第 1 回 日程 平成 25 年 6 月 8 日(土)

場所 中央区立総合スポーツセンター

④科学委員会

第 1 回 日程 平成 25 年 4 月 21 日(日)

場所 東京シティ・エアターミナル

(6)JPC 運営委員会

①JPC 運営委員会

第 1 回 日程 平成 25 年 6 月 21 日(金)

場所 日本橋浜町 F タワー

第 2 回 日程 平成 25 年 8 月 27 日(火)

場所 東京シティ・エアターミナル

第 3 回 日程 平成 25 年 12 月 20 日(金)

場所 東京シティ・エアターミナル

第 4 回 日程 平成 26 年 2 月 24 日(月)

場所 東京シティ・エアターミナル

2)JPC 強化委員会

第 1 回 平成 25 年 5 月 10 日(金) 浜町区民館

第 2 回 平成 25 年 9 月 23 日(月) 堀留町区民館

第 3 回 平成 25 年 12 月 20 日(金) 東京シティ・エアターミナル

第 4 回 平成 26 年 2 月 10 日(月) 人形町区民館

(7)表彰等

1)会長表彰等(特別功労章、功労章、特別賞、感謝状)

(8)障害者スポーツ指導者協議会

①運営委員会

第 1 回 平成 25 年 5 月 20 日(月) 久松町区民館

第 2 回 平成 25 年 10 月 21 日(月) 人形町区民館

②研修部会

第 1 回 平成 25 年 5 月 27 日(月) 人形町区民館

第 2 回 平成 25 年 9 月 1 日(日) 堀留町区民館

第 3 回 平成 25 年 11 月 23 日(土) 富山大学

第 4 回 平成 26 年 3 月 1 日(土) 堀留町区民館

- ③情報部会
 - 第1回 平成25年4月18日(木) 新川区民館
 - 第2回 平成25年11月14日(木) 人形町区民館
 - 第3回 平成26年2月24日(月) 人形町区民館
- ④指導部会
 - 第1回 平成26年3月17日(月) 人形町区民館
- (9)その他
 - ①第1回精神障がい者スポーツ国際シンポジウム
 - 日程 平成25年10月4日(金)～8日(火)
 - 場所 明治学院大学白金キャンパス
 - 内容 各国の精神障がい者のスポーツ活動報告
 - 参加 260名

11 2015年創立50周年記念事業の検討

協会創立50周年を迎えるにあたり、主催する大会、行事等において50周年を迎えたことを周知するとともに、情報誌等でも広く報告していく方向での計画を調整した。

VI 東京2020オリンピック・パラリンピック招致活動の推進・準備の開始

- (1) 2020 東京オリンピック・パラリンピック招致出陣式
 - 日時 平成25年8月23日(金)17:25～18:30
 - 場所 東京都庁第一庁舎
- (2)開催都市決定を迎える会
 - 日時 平成25年9月7日(土)22:00～8日(日)7:00
 - 場所 東京商工会議所
- (3)2020年オリンピック・パラリンピック東京大会実施本部第1回総会
 - 日時 平成25年12月5日(木)17:00～19:00
 - 場所 自由民主党本部
- (4)IPC・東京2020オリエンテーションセミナー
 - 日時 平成26年1月19日(日)～20日(月)
 - 場所 ホテルニューオータニ